

# 「新学校版環境ISO」について

1. 「新学校版環境ISO」の取組内容  
 次の、①必須項目と、②選択項目の(a)～(d)から1つ以上を選択とすることで、地域や学校の状況に応じた取組を推進する。

- ① **必須項目**  
 学校(校内)における節電・ごみ分別・リサイクル活動  
 (現在、定着しつつあるこの3項目については、すべての学校で実施し、活動の基盤的な位置づけとする。)
- ② **選択項目**・・・(a)～(d)から1つ以上を選択する。
  - (a) **地域**(家庭を含む)に広げる節電・ごみ分別・リサイクル活動  
 例 児童生徒の家庭における節電・節水  
 学校と保護者が協力してリサイクル活動を実施
  - (b) **地域**に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動  
 例 地域の海岸の松林の保護・清掃活動  
 地域独自の希少動植物の保護活動(イシマササユリなど)  
 校外において実施する清掃活動
  - (c) **地域**に関連したテーマを選び、深めていく環境学習活動  
 例 校内において緑のカーテンの取組  
 (県の施策:都市部の緑化推進をテーマに)  
 地域にある河川の水質検査を通じた学習の実施  
 太陽光発電について体験し、エネルギーの地産地消を学ぶ  
 地域の水辺の環境を校内にビオトープを作り再現し観察  
 地域で取り組んでいる生活排水の浄化を学校でも実施
  - (d) 上記項目以外で、運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動  
 例 企業との連携による環境教育の取組、  
 ユネスコス쿨の取組

## 2. 新旧対照表

	新	現 行
取組内容	①必須項目 節電・ごみ分別・リサイクル ②選択項目(1つ以上を選択) (a) 地域に広げる節電・ごみ分別・リサイクル (b) 地域に出向き深める環境美化・環境保全 (c) 地域に関係したテーマを選び深める環境学習 (d) 上記項目以外で、運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動	①取組は、3項目以上 ②節電・節ガス・節水を含む ③環境学習を含む (4項目程度の取組が一般)
理念	①地域への活動の拡大 ②国際規格ISO14000シリーズ ③PDCAサイクル ④見える化	①国際規格ISO14000シリーズ ②PDCAサイクル ③見える化
認証手続	①計画書申請 ②学校による内部評価(2回) ③新規申請校は訪問審査を実施 ④運営委員会で審査・認証	①計画書申請 ②学校による内部評価(2回) ③新規申請校は訪問審査を実施 ④運営委員会で審査・認証

# 「新学校版環境 ISO」

～学校と地域の連携で広げるエコプロジェクト～



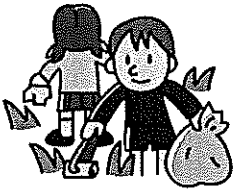
活動を地域へ広げ、  
環境学習を充実

環境保全に対する意識の  
高い児童・生徒の育成

郷土を愛するモラルの  
高い児童・生徒の育成

校内活動（必須項目） + 地域活動（選択項目） → 学校から地域へ広げる  
エコプロジェクト

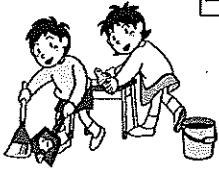
## 地域（家庭を含む）と連携した活動（選択項目：1つ以上選択）



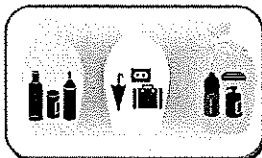
- (a) 地域に広げる節電・ごみ分別・リサイクル活動
- (b) 地域に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動
- (c) 地域に関連したテーマを選び、深めていく環境学習活動
- (d) 運営委員会が特に認めたテーマによる活動



## エコスクール活動（必須項目：3つ）

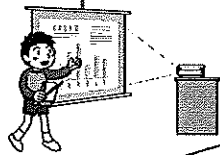


- 学校（校内）における
- 節電
  - ごみ分別
  - リサイクル活動



### 環境・エネルギー教育

- 各教科の学習
- 総合的な学習の時間
- 特別活動 等



学 習

校 内  
活 動

地 域  
活 動

**D**

- (2) 行動 Do
- ① 推進体制づくり
  - ② 具体的な活動
  - ③ 活動の記録

**P**

### (1) 計画 Plan

- ① 環境目標及び行動方針
- ② 指標設定

現状分析（各学校）

**C**

### (3) 点検・評価 Check

- ① 各校による内部評価（2回）
- ② 新規申請校は訪問審査を実施

定期審査（運営委員会）

**A**

### (4) 見直し Action

- ① まとめと公表
- ② 見直し・部分修正
- ③ 指標の改善
- ④ 新たな行動方針

認証（運営委員会）

「新学校版環境 ISO」  
へ申請